



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和4年度 福島県キャリア教育推進事業
キャリア教育モデル校実践研究発表会（南相馬市立大甕小学校）

- 日 時：令和4年11月17日（木） 13：30～16：30
- 会 場：南相馬市立大甕小学校（南相馬市原町区大甕字鶴時8）
- 参加者：小学校教員28名、中学校教員1名、教育関係者13名
- 内 容：公開授業 第1学年学級活動「おそじのしかた」（松田 雄樹 教諭）
第6学年算 数 科「拡大図と縮図」（加藤 修平 教諭）
事後研究会（各授業会場）
教育シンポジウム「特別活動を要とした各教科等におけるキャリア教育の在り方」
【講 師】福島大学人間文化発達学類 准教授 鳴川 哲也 様
（前 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

【研修のまとめ】

キャリア教育の要としての「特別活動」を機能させ、児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、児童生徒一人一人のキャリア形成と自己実現を目指して、以下の点に留意していきましょう。

- (1) 学校全体の実態を捉え、目指す子ども像を教職員や児童生徒と共有すること。また、児童生徒の「自治的、自発的活動」の時間を十分に確保し、自分の役割をもって活動することで、児童生徒一人一人が認められる場を設けていくこと。【特別活動】
- (2) 将来の生活や社会と関連付けながら、見通しをもったり、振り返ったりする機会を設けるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めること。また、児童生徒一人一人の背景を理解し、思いや願いに寄り添った授業を実践すること。【各教科等】
- (3) 子どものよさを認め、それらを教職員で共有しながら、積極的に価値付けていくこと。【学校生活全般】

研修の感想

- 子どもたちの「こうしたい」「こうありたい」という思いや願いを実現するために教師がどう働きかけていくべきかを考えるきっかけとなりました。子ども自身によりよい学級・学校をつくっていく力を身に付けさせるために、「自分ができること」「自分がやりたいこと」を子どもたちから引き出し、教師側からの一方的な指導を減らしていく必要を感じました。
- すべての学びがキャリア教育につながっていることが理解できました。子どもの思いや願いを実現できるよう、特別活動をはじめ各教科等の学びの中にキャリア教育の視点を生かしていきたいです。
- なりたい自分（思いや願い）と現在の状況とのズレや問題を解決していくことが自己実現につながるという話を受け、「なりたい自分」をもつことが第一に必要であると感じました。「なりたい自分」をもてるように、子どもの試行錯誤を大切にしながら様々な経験や成功体験を積み重ねたいと思いました。

